

**教材** 「一冊のノート」

**主題** 家族への愛・幸せ

**ねらい** 家族への思いに気づき、祖父母への敬愛を深め、家族の一員として慈しみや敬愛の心情を養う。

### 導入

- ・身近な家族について思っていること・考えていることは？（質問）
- ・様々な家族状況の世帯があり、配慮すべき点は言動に注意しておく。

～**範読 11分10秒**～

### 展開

**場面①** 問題集が見つかったときや買い物籠をひったくったときどのような思いだっただろうか。

- ・むっとしてイライラした。・怒りの感情。　・しっかりしてほしい。
- ・迷惑だ。　・こんな事やめてほしい。・嫌な思いをした。・家族に迷惑かけるなよ。

**場面②** 引き出しにあったノートを読んだとき、どんな気持ちになっただろうか。

・補助発問：空白のページのにじんだインクの跡は、祖母のどんな気持ちが伝わるだろうか。→ ・悲しみ　・寂しさ　・虚しさ　・泣いている　・不安

- ・僕の気持ちは？・・・いたたまれない。悲しい気持ち。ショック。どうすればいい？
- ・祖母の老いていく様子を知り、何とも言えない気持ちになった。

↓※時間あればこちらも。「家族愛」について深みのある自分なりの考えをさせる。

OP37の参考にある「手紙～親愛なる子供たちへ～」を範読する（5分～7分）

**主題発問** 祖母と並んで草取りをした時、自分なら「きれいになったね」のあとにどう声掛けをしたらだろうか？

（ 個 → フリー → 個 ）

- ・祖母と僕の家族関係やいままでお世話になっている祖母の姿を考えてみる。
- ・家族の一員として祖母に対してどのような言動や行動をとるべきなのか考えさせる。

**終末** 感想記入。 私たちは「家族の一員」としてどうあるべきだろうか？。授業の感想で投げかけることも必要？